

昭和55年の姉妹都市提携から今年30周年を迎え、記念事業が行われました。その一部を写真でご紹介します。

スポーツ少年団体が

北茨城市を訪問
昨年8月6日(金)、7日(土)の2日間の日程で、当市の柔道・剣道スポーツ少年団67人が北茨城市を訪問しました。合同練習、交流会、野口雨情記念館訪問、乗船体験などを行い、次代を担う子どもたちの交流を深めました。



柔道・剣道の合同練習



野口雨情記念館を見学



漁業歴史資料館を見学



よう・そろーで水産教室



乗船と海釣りを体験

北茨城市市民号来市

昨年11月13日(土)、14日(日)、中野えびず講にあわせ、北茨城市民70人が市民号として本市を訪問し、中山晋平記念館見学、土人形絵付け体験、リング狩り、エノキタケの栽培施設見学・収穫体験を行いました。また、産業展会場の中野勤労者福祉センターでは、北茨城市の皆さんによるあんこう汁、水産加工品の販売が行われました。



リング狩り体験



中山晋平記念館を見学



土人形絵付け体験



エノキタケ栽培施設で収穫体験



あんこうの吊るし切り

無形民俗文化財 日和山神社鬼獅子が

「地域伝統芸能まつり」に出演

2月26日(土)、27日(日)の両日、東京都渋谷区のNHKホールで開催される(財)地域創造主催の「第11回地域伝統芸能まつり」に、市無形民俗文化財「日和山神社鬼獅子」が出演します。

このフェスティバルは全国各地の民俗芸能や神事、能・狂言などの古典芸能が一堂に会し実演を披露するもので、平成12年度に始まり、今年で11回目を迎えます。今年「荒ぶる」をテーマに、全国から2百を超える推薦がありました。最終的に「日和山神社鬼獅子」を含む11団体と能・狂言で4演目が選出されました。「日和山神社鬼獅子」は、2月27日(日)の午後に出演する予定です。



「信州中野の一字大賞」

たくさんのご応募
ありがとうございました

信州中野の一字大賞「家族に対する想い漢字一文字」については、昨年10月から12月まで募集したところ、市内外から926通の応募がありました。

今回の信州中野の一字大賞の漢字の発表については、2月19日(土)開催の「生涯学習市民のつどい」で行います。

問い合わせ先 市教育委員会事務局
生涯学習課生涯学習推進係
☎(38)3112 (内線543)



日和山神社芸能保存会の酒井会長(写真左)と保存会の皆さん

日和山神社鬼獅子

当市を代表する獅子舞の一つで、江戸時代中ごろに始まったとされています。昭和47年に市無形民俗文化財に指定されました。毎年、草間の日和山神社秋祭りの宵宮において奉納されています。

を発して獅子の前に飛び出し、獅子と鬼が互いに激しく舞います。獅子の前に飛び出してきた鬼は、獅子と向かい合い、大声をあげ高く飛び上がった、退いたり、忍び寄るといふ所作を繰り返します。獅子もまた、鬼に食いつこうとするなど、両者の押しつ押しされつの激しい舞は、大変迫力があります。



現在、草間・日和地区の「日和山神社芸能保存会」がこの獅子舞の保存・継承に取り組み、地元だけでなく、市外へも出向いて獅子舞を披露するなど、積極的に活動しています。